

9月7日(月曜日)「真の幸福の教え(3)」

【新改訳 2017】

ルカ 6.21

「……いま泣く者は幸いです。やがてあなたは笑うから。」

マタイ 5.4

「悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるから。」

今、あなたは何を喜びとし、何を悲しみとしておられるでしょうか。主のおことばの真意がわかったら、なんと幸いなことでしょう。それは、今この地上で、現実に一時的に体験している悲しみを取り上げながら、いつまでも続く霊的なこと、さらには天国の祝福へと招き入れようとしておられるからです。

以前、脳の手術をして入院していた若い一人の兄弟が、イースターの朝、電話をくれました。そのことばを忘れることができません。「先生、顔が腫れてしまい、体は痩せ、頭髪は薄くなっています。しかしうれしいんです。心は平安で、感謝です。完全な身体で地獄に行くよりも、こうなっても天国へ行けることがうれしいんです。いつもイエス

さまとお話ししています。」これこそ、生きた証ではない  
でしょうか。

～祈り～

主よ。今、悲しみに泣いている多くの人があります。どうか、あなたにこそ真の慰めがあることを知ることができますように。

### 【学びのために】

「悲しみ」について:病気、失敗、事故災害など、いろいろな悲しみがありますが、神の慰めを得るためにもっとも大切なことは、自分の罪深さや罪に気づいて悲しみ、主イエスの救いを受けけることです。この救いは、本当にすばらしい慰めです。